

【報道発表資料】

2020年9月8日

株式会社 huntech

ジビエクラウドに「衛生管理記録機能」を追加、ジビエ処理施設の HACCP 対応を支援

～HACCPに必要なトレーサビリティと衛生管理記録を容易に実現～

狩猟関連機器・サービスの企画・開発・販売を行う株式会社 huntech（読み：ハンテック、本社：東京都目黒区、代表取締役：川崎亘）は、2020年9月14日、現在提供しているトレーサビリティにも対応した捕獲・加工情報プラットフォーム「ジビエクラウド」に、ジビエ処理施設の衛生管理記録機能を追加実装します。

本機能は、ジビエ処理施設においても2021年6月より義務化される HACCP への対応を支援するものです。ジビエクラウドをご利用いただくことで、ジビエ処理施設において求められる食品衛生に関する情報管理が容易に実現できます。

【開発の背景】

1. 食品衛生法改正に伴いジビエ処理施設でも HACCP 対応が義務化

2018年6月に公布された食品衛生法等の一部を改正する法律では、小規模ジビエ処理施設を含むすべての食品等事業者が HACCP（危害分析・重要管理点方式）に適合した衛生管理が、2021年6月より義務化されます。違反した場合には、行政指導や営業許可の取消又は営業の禁停止がなされる恐れがあります。

ジビエ処理施設が HACCP に対応するためには、大きく「商品のトレーサビリティ」と「施設の衛生管理記録」の二点について、①管理計画を策定し、②手順書を用意し、③管理情報を保存し、④必要に応じて以上を見直すことが求められています。

2. HACCP 対応はジビエ処理施設にとっても大きな負担

HACCP への対応が求められるジビエ処理施設ですが、従業員は平均約 3.8 人と小規模であるため、新たな衛生管理システムの構築、その後の運用は大きな負担となっています。(参考資料 1)

ジビエ処理施設が取り扱う野生動物は、家畜と異なり生産段階での管理ができないので、既存の畜産業における HACCP の仕組みをそのまま流用することはできず、独自の衛生管理システムを構築する必要があります。しかし、鳥獣捕獲・ジビエ利活用業界は市場規模が小さいこともあり、これまでジビエ処理施設向けの包括的な HACCP 対応支援の Web サービスはありませんでした。

3. トレーサビリティシステムの提供を通じたジビエ処理施設支援の実績

huntech は 2019 年より、ハンターや処理加工施設が簡単に捕獲から加工情報の登録・管理が可能なトレーサビリティシステム「ジビエクラウド」を提供し、複数のジビエ処理施設にご利用頂いております。今回の機能追加は、ジビエ処理施設における新法規への対応支援を実現しジビエクラウドの付加価値を向上させます。

【機能概要】

1. HACCP 対応の指針に沿った記録・入力

ジビエ処理施設では、厚生労働省の「野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針（ガイドライン）」(参考資料 2)を基本とした「小規模ジビエ処理施設向け HACCP の考え方を取り入れた衛生管理のための手引書」(参考資料 3)では衛生管理計画を策定し、以下 5 つの様式と別紙①と②について実施したものを確認・記録・検証する事が必要です。

《様式》

- 1・捕獲・受入個体記録表(日報)
- 2・従事者等の衛生管理点検表
- 3・と体解体時の確認記録表(日報)
- 4・金属検出機チェック表
- 5・冷蔵庫内・冷凍庫内温度チェック表

《別紙①、②》

- ・交差汚染、二次汚染の防止

huntech のジビエクラウドでは、トレーサビリティとして既に実装していた様式 1 (捕獲・受入個体記録表)・様式 3 (と体解体時の確認記録表)への対応に加え、残り全ての様式と別紙(①と②)について確認・記録機能を実装し、ジビエ処理施設の衛生管理業務を支援するものです。

GibierCloud 捕獲ログ 加工ログ デバイス 施設管理記録 ユーザ管理 デモ管理者

施設の日常点検の編集

施設の日常点検

加工施設

点検日

記録者

衛生管理者

施設に関する点検項目

解体室

(1) 作業前の器具設備は清潔であったか? ○ △ × - (該当なし)

(2) 消毒は適切に行ったか? ○ △ × - (該当なし)

(3) 作業後は器具・設備は洗浄・消毒したか? ○ △ × - (該当なし)

(4) 床や排水溝等に汚物が付着していないか? ○ △ × - (該当なし)

冷凍室

(図：衛生管理記録機能进行操作する画面)

2. 記録した情報の履歴確認

本機能では入力した衛生管理記録について、web 上で様式・点検日ごとに後から確認できるようにになっています。これにより、記録の提出が要請された場合や問題が繰り返し発生している場合に過去の記録を参照し、対処することでより衛生的なジビエ管理が可能となります。

施設の日常点検一覧

点検を追加

点検ID	記録者	衛生管理者	点検日	承認ステータス	編集
1	デモ運用マネージャー	デモ管理者	2020年06月13日(土)	承認済み	✎
2	デモ管理者	デモ管理者	2020年06月19日(金)	承認済み	✎
3	デモ加工施設担当者	デモ加工施設担当者	2020年06月19日(金)	承認済み	✎
4	デモ管理者	デモ管理者	2020年06月25日(木)	承認済み	✎
5	デモ管理者	デモ管理者	2020年07月27日(月)	承認済み	✎
6	デモ管理者	デモ管理者	2020年07月29日(水)	承認済み	✎
7	デモ管理者	デモ管理者	2020年07月31日(金)	承認済み	✎
8	デモ加工施設担当者		2020年08月03日(月)	承認待ち	✎

(図：管理記録のアーカイブ画面)

【衛生管理記録機能の特徴】

1. 手引きに準拠した様式を実装

HACCP対応では、予め施設の衛生管理における点検項目を定め、それを記録・保存することが求められています。施設の衛生管理記録機能では、「小規模ジビエ処理施設向け HACCPの考え方を取り入れた衛生管理のための手引書」に準拠した記録様式が準備されているため、ゼロからこれらを作成するといった作業に煩わされることはありません。

2. お持ちのデバイスで利用可能、導入コストを抑制

今回追加される衛生管理記録機能を含めた「ジビエクラウド」はWebブラウザから利用可能なため、専用アプリやシステムのインストールは不要で、使用する環境を選びません。特別な書類や新たな機材を導入することなく、お持ちの PC やスマホ・タブレット端末をそのままできるため、大幅な導入コストの圧縮につながります。

3. 紙の管理から解放、手間をかけずに運用

紙面での衛生管理記録では、記録保管場所の維持管理や、遠隔地における記録承認手続きでも多くの課題を抱えています。今回追加された施設衛生管理記録機能はWebで完結し、紙面での記録管理に比べてファイリングや印刷の手間も不要で、面倒な保管管理に煩わされる事はありません。

また記録項目は端末上に表示される選択肢を選択するだけで入力できます。感覚的に操作可能なインターフェイスにより、スマホや PC の扱いに慣れない方でも利用可能です。

【製品概要】

- ・製品名：「ジビエクラウド」
 - ・発売日：2019年5月7日
 - ・初期費用：50,000円／処理施設（税抜）
 - ・月額費用：4,000円／処理施設（税抜）
- ※ 処理施設内のアカウント数には制限なし

【参考資料】

1,日本ジビエ振興協会：「食肉処理施設へのアンケート調査」（平成29年）

<https://www.gibier.or.jp/enquete2017/>

2,厚生労働省：「野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針(ガイドライン)」（令和2年）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000635324.pdf>

3,日本ジビエ振興協会：「小規模ジビエ処理施設向け HACCP の考え方を取り入れた衛生管理のための手引書」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000513248.pdf>

【会社概要】

会社名： 株式会社 huntech
設立： 2017年9月26日
資本金： 210万円
代表者： 代表取締役 川崎 亘（かわさき わたる）
所在地： 東京都目黒区目黒本町 5-7-11 三幸ビル 401号
事業内容： 狩猟関連機器・サービスの企画・開発・販売
ウェブサイト： <https://huntech.jp/>

株式会社 huntech は、テクノロジー活用による地方創生を目指し、野生鳥獣の捕獲・流通プロセスの改革による、一次産業の強化と地域資源の有効活用を推進します。

【報道関係お問い合わせ先】

株式会社 huntech 担当：川崎

TEL：050-5218-9424

E-mail：info@huntech.jp